



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月11日

上場会社名 株式会社シード 上場取引所 東  
 コード番号 7743 URL <https://www.seed.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 隆郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 兼 管理本部長 (氏名) 杉山 哲也 TEL 03-3813-1111  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月23日 配当支払開始予定日 2026年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	33,942	2.1	1,439	△7.8	1,406	5.5	1,135	4.0
2025年3月期	33,231	2.6	1,562	△23.8	1,333	△35.3	1,092	△44.4

（注）包括利益 2026年3月期 1,696百万円（45.3%） 2025年3月期 1,167百万円（△52.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	37.52	—	6.1	2.5	4.2
2025年3月期	36.10	—	6.2	2.6	4.7

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	62,500	19,601	30.8	636.76
2025年3月期	51,760	18,385	34.9	596.81

（参考）自己資本 2026年3月期 19,272百万円 2025年3月期 18,062百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,690	△3,840	△1,908	4,171
2025年3月期	2,978	△4,574	△1,127	7,078

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	453	41.6	2.6
2026年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	453	40.0	2.4
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00		33.6	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	9.0	2,200	52.8	1,750	24.5	1,350	18.9	44.60

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 5社 (社名) SEED CONTACT LENS(M)SDN. BHDほか4社、除外 1社 (社名) SEED Contact Lens Europe GmbH

(注) 詳細は、添付資料P. 14「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	30,265,922株	2025年3月期	30,265,922株
2026年3月期	136株	2025年3月期	136株
2026年3月期	30,265,786株	2025年3月期	30,265,801株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	30,336	1.3	1,775	△3.0	1,742	11.3	1,318	16.1
2025年3月期	29,949	1.7	1,830	△23.5	1,565	△34.2	1,135	△37.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	43.55	—
2025年3月期	37.51	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2026年3月期	61,331		19,295		31.5	637.54		
2025年3月期	50,308		18,386		36.5	607.49		

(参考) 自己資本 2026年3月期 19,295百万円 2025年3月期 18,386百万円

2. 2027年3月期の個別業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	5.5	2,200	23.9	1,800	3.3	1,400	6.2	46.25

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2~4ページをご参照願います。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年5月26日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結範囲の重要な変更)	14
(セグメント情報等の注記)	14
(連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	20
(企業結合等関係)	21
(1株当たり情報)	24

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益において米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられます。雇用情勢や所得環境の改善の動きが続く中で、個人消費は持ち直しの傾向がみられ、設備投資も底堅く推移しており、国内景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、米国の通商政策による影響や中東情勢の緊迫化等、地政学リスクの高まりにより、原材料価格やエネルギー価格の高騰が懸念され、下振れリスクをはらんでおります。

国内のコンタクトレンズ市場においては、近視人口増加に伴う装用人口の増加や装用者の年齢層拡大を背景として、緩やかなながらも成長を続けております。特に乱視用や遠近両用等のスペシャリティレンズ、ファッション性の高いサークル・カラーレンズ、就寝時に装用し日中裸眼で視力矯正効果が得られるオルソケラトロジーレンズ等の需要拡大は続けております。海外のコンタクトレンズ市場におきましても、中国市場の停滞感は見られるものの、特に東南アジアやインド等、急速に経済発展している国々においては、さらなる市場の拡大が見込まれております。このような状況の下、当社グループでは、「まだみぬ、世界は、美しい」をパーパスのキャッチコピーに掲げ、多様な「みえる」喜びを創造できる社会の実現を目指し、ニーズに合った満足いただける安全で高品質な製品、サービス等をお客様へご提供できるよう努めております。

中期経営計画（2024年4月～2027年3月）におきましては、「連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤を確保する」ことを掲げており、特に「省人化生産体制の構築による競争力維持」「品質向上による安全安心の追求」「コーポレートブランド再構築による企業価値向上」「環境経営の推進」「人的資源強化による事業基盤の整備」を企業目標達成に向けた重点課題として取り組んでおります。

また、当社は2026年3月31日付で、流通株式時価総額が上場維持基準に適合せず、東証における上場市場区分を東証プライム市場から東証スタンダード市場へ変更しております。上場市場区分変更後も引き続きコーポレート・ガバナンスの強化、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応等、持続的かつ中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

生産計画につきましては、国内外におけるコンタクトレンズ需要拡大への対応を背景として、安定した商品供給と今後の成長戦略を実現するため、設備更新や生産ラインの新規増設を積極的に行っております。2026年1月に竣工した4号棟は、3月より稼働を開始しております。人員確保のハードルが上がっている中、さらなる省人化を実現する生産ラインの構築を進めつつ、第一期計画では最大生産能力が4号棟稼働前の月産6,500万枚から2027年3月期には月産7,900万枚となり、第二期計画後の2028年3月期には月産8,950万枚を見込んでおります。

商品戦略としましては、主力商品である国産の「シード1 dayPureシリーズ」の中でも、とりわけ乱視用や遠近両用レンズといったスペシャリティレンズの販売に注力しております。「シード1 dayPureシリーズ」については、他社との差別化要素である「国産」「32枚入り」の商品特長を消費者に訴求して販売を進めております。市場のニーズが高まるシリコンハイドロゲルレンズにつきましては、2026年2月に「シード AirGrade 2week UV W-Moisture TORIC」を発売いたしました。これにより「シード AirGrade」シリーズのラインナップがさらに充実し、1 day市場と2 week市場の両カテゴリにおけるシェア拡大を図っております。サークル・カラーレンズにつきましては、「シードEye coffret 1 day UV M」「ベルミー」に加えて、2025年12月に発売開始した「ヒロインメイク 1 day UV M」の新色「光のブラウン」「煌めきピンク」の売上が伸長しております。また、オルソケラトロジーレンズ「プレスオーコレクト」につきましては、既存サービスの拡充を行うとともに、各学会での講演やセミナー開催を通じてプレゼンスを高めております。引き続き取扱施設の拡大や定額制サービスの普及により需要の創出を図ってまいります。

研究開発の分野では、近視進行抑制の効果効能の確認を目的としたコンタクトレンズの治験を進めております。また、電子デバイス型コンタクトレンズ（スマートコンタクトレンズ）につきましては、先進的な汎用プラットフォームを公開しており、企業や大学等研究機関と共同研究開発を行うことで、様々な分野における将来のスマートコンタクトレンズへの需要に対応してまいります。

これらの事業活動の結果、当連結会計年度において、国内外でのコンタクトレンズ需要は堅調に拡大しておりますが、市場における価格競争や流通チャネルの多様化等の影響を受けたため、売上高は33,942百万円（前年同期比2.1%増）に留まりました。利益につきましては、製品の歩留まりは改善しつつも、一部輸入商品の仕入価格が円安により上昇し、粗利が減少したことから、売上総利益に影響を及ぼしました。販売費及び一般管理費においては、人員増加や処遇改善によって人件費が増加し、また、シンガポールに物流拠点を立ち上げるための費用や組織改編検討のためのアドバイザー費用が発生しております。その結果として、営業利益1,439百万円（前年同期比7.8%減）、経常利益1,406百万円（前年同期比5.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,135百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

## （コンタクトレンズ・ケア用品）

国内のコンタクトレンズ販売につきましては、主軸となる国産の「シード1 dayPureシリーズ」、乱視用が新たに加わった「シードAirGradeシリーズ」、市場の成長が見込まれる遠近両用レンズ等の拡販に注力してまいりました。「シード1 dayPureシリーズ」につきましては、乱視用と遠近両用の売上は回復したものの、単焦点におきましては、競合商品との価格競争の影響を受けており、前年同期比1.6%増に留まりました。オルソケラトロジーレンズにつきましては、前年同期比11.6%増と大きく伸ばいたしました。サークル・カラーレンズにおいては、販売チャネルの多様化と競合商品の増加の影響もありましたが、新色の発売やSNSを活用した販売促進を進めたことで、前年同期比2.0%増となりました。ケア用品につきましては、オルソケラトロジーレンズ関連のケア用品が増加したため、前年同期比4.5%増となりました。海外へのコンタクトレンズ輸出につきましては、中国での売上は低迷しているものの、ベトナムやマレーシアでの売上が伸びたため、前年同期比5.3%の増加となりました。その結果、セグメント全体の売上高は33,849百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益3,469百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

## （その他）

その他につきましては、眼内レンズの売上が減少した結果、売上高は92百万円（前年同期比26.7%減）となりましたが、利益率が改善したため、営業利益は11百万円（前年同期営業損失8百万円）となりました。

## ②今後の見通し

今後の景気見通しにつきましては、中東情勢の緊迫化等を背景とした石化製品の供給不安や価格の上昇、物流コストの高騰、円安による輸入物価の上昇等の影響により、景気の先行きについてはより一層不透明かつ予断を許さない状況が続いております。

コンタクトレンズの国内市場におきましては、高齢化と人口減少が進んでいるものの、近視人口増加に伴う装用人口の増加や、装用者の年齢層拡大を背景とした遠近両用レンズの需要拡大等によって、引き続き安定して成長すると推測しております。海外市場につきましても、近視人口の増加は喫緊の課題であり、人口増加と所得水準上昇が見込まれるアジア、インド等の国々においては、特に市場の伸びが見込まれます。

鴻巣研究所では、安定した商品供給と今後の成長戦略を実現するため、4号棟稼働による生産力の抜本的引き上げに取り組んでおり、国内外の需要の拡大に応じてまいります。

国内における商品戦略におきましては、主力商品である国産の「シード1 dayPureシリーズ」の中でも、特に乱視用や遠近両用といったスペシャリティレンズの販売に引き続き注力いたします。また、当社の収益の柱である「シード1 dayPureシリーズ」のリブランディングに着手いたします。既存ブランドのマーケティング戦略を改めて見直し、「国産」「32枚入り」という商品特長を活かしながら、ブランドイメージや商品価値を再構築してまいります。また、新素材のシリコンハイドロゲルレンズにつきましては、現在承認申請中の段階であり、2028年3月期の全国発売に向けて、2027年3月期には先行販売を予定しております。サークル・カラーレンズにつきましても、WEB広告等を活用したプロモーション展開を積極的に行ってまいります。さらに、2027年3月期に新色の発売やスペシャリティレンズの拡充も予定しております。

海外における商品戦略におきましても、円安メリットを活かしながら積極的な販売活動を展開いたします。特に中国市場におきましては、連結会社の完全子会社化により、経営の意思決定スピードを一層高めます。また、国際事業本部内に中国営業部を新設し、より中国国内での売上拡大を進めてまいります。さらに、シンガポールに新たな物流拠点を構築することで、特にベトナムやマレーシア等、今後の成長が期待できる東南アジア地域での販売強化につなげます。

連結業績見通しにつきましては、グループ全体の業績は売上高37,000百万円と前期比9.0%増を見込んでおります。利益につきましては、営業利益2,200百万円、経常利益1,750百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,350百万円を見込んでおります。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産の残高は、62,500百万円となり、前連結会計年度末から10,739百万円増加いたしました。主な要因としましては、鴻巣研究所4号棟の竣工並びに新規設備の導入により有形固定資産が増加したことが挙げられます。負債につきましては、42,898百万円となり、前連結会計年度末から9,522百万円増加しております。主な要因としましては、4号棟の建設費用並びに新規設備導入に伴う未払金の増加が挙げられます。純資産につきましては、19,601百万円となり、前連結会計年度末から1,216百万円増加しております。主な要因としては、利益剰余金が増加したことが挙げられます。

## ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、4,171百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、2,690百万円(前年同期2,978百万円の増加)となりました。資金増加の主な要因は、減価償却費の計上3,200百万円や税金等調整前当期純利益の計上1,486百万円であります。資金減少の主な要因は、在庫の積み上げによる棚卸資産の増加1,785百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、3,840百万円(前年同期4,574百万円の減少)となりました。主な要因は、鴻巣研究所の設備導入等に伴う有形固定資産の取得による支出3,128百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、1,908百万円(前年同期1,127百万円の減少)となりました。主な要因は、設備導入に伴うリース債務の返済1,439百万円や長期借入金の返済1,906百万円であります。

### ③キャッシュ・フロー関連指標の推移

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	35.0	34.9	30.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	40.5	28.5	29.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	28.2	8.8	6.9

(注) 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

(株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出)

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

### (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、株主の皆様にも適切な配当水準による配当継続を実施することを重要課題とし、経営体質強化と財務健全性の維持のための内部留保確保等を勘案した上で、株主への利益還元を継続していくことを基本方針としております。今後の成長戦略と上記基本方針にも掲げております株主への安定的な利益還元を継続していくこと等を総合的に勘案いたしまして、2025年5月12日に公表いたしましたとおり1株につき15円の配当とさせていただきます。

次期の配当につきましては、上記基本方針と中長期的に事業規模の拡大が収益拡大に繋がること等を総合的に検討し、2026年3月期同様1株につき年間15円の配当を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間及び期間比較可能性を確保するため、日本基準にて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,116,716	4,211,149
受取手形及び売掛金	4,627,869	5,114,156
商品及び製品	5,588,382	7,642,197
仕掛品	537,705	551,831
原材料及び貯蔵品	1,226,305	1,258,751
前渡金	31,977	162,957
未収入金	1,062,139	733,562
その他	512,555	2,195,750
貸倒引当金	△26,489	△54,630
流動資産合計	20,677,162	21,815,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	12,153,465	19,082,700
機械装置及び運搬具 (純額)	1,383,983	2,179,014
土地	6,190,491	6,234,249
リース資産 (純額)	6,507,539	8,073,821
建設仮勘定	1,013,841	406,613
その他 (純額)	577,759	849,167
有形固定資産合計	27,827,081	36,825,567
無形固定資産		
のれん	374,200	1,068,855
その他	549,305	547,911
無形固定資産合計	923,506	1,616,767
投資その他の資産		
投資有価証券	1,031,648	969,931
長期貸付金	41,934	40,985
固定化営業債権	400,137	401,866
長期前払費用	13,617	14,154
敷金	34,869	39,424
差入保証金	69,675	75,271
繰延税金資産	1,171,367	1,131,243
その他	5,897	7,013
貸倒引当金	△436,011	△437,739
投資その他の資産合計	2,333,136	2,242,151
固定資産合計	31,083,723	40,684,487
資産合計	51,760,886	62,500,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	693,653	356,281
短期借入金	12,288,768	13,894,586
リース債務	1,852,142	2,092,751
未払金	2,160,245	9,946,376
未払法人税等	115,869	309,072
未払消費税等	4,670	20,589
未払費用	232,385	278,184
賞与引当金	518,705	560,239
設備関係支払手形	76,940	—
製品保証引当金	94,440	101,870
その他	101,436	98,714
流動負債合計	18,139,258	27,658,666
固定負債		
長期借入金	6,799,342	5,592,016
リース債務	5,322,623	6,890,136
退職給付に係る負債	2,948,335	2,615,683
資産除去債務	39,774	39,774
繰延税金負債	4,143	4,102
その他	122,378	98,155
固定負債合計	15,236,596	15,239,869
負債合計	33,375,855	42,898,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,532,319	3,532,319
資本剰余金	4,774,783	4,774,783
利益剰余金	8,772,379	9,419,009
自己株式	△83	△83
株主資本合計	17,079,399	17,726,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380,661	447,453
繰延ヘッジ損益	7,439	8,729
為替換算調整勘定	412,264	641,905
退職給付に係る調整累計額	183,024	447,886
その他の包括利益累計額合計	983,389	1,545,975
非支配株主持分	322,242	329,673
純資産合計	18,385,030	19,601,677
負債純資産合計	51,760,886	62,500,213

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	33,231,633	33,942,396
売上原価	18,603,586	18,720,066
売上総利益	14,628,047	15,222,329
販売費及び一般管理費	13,066,040	13,782,721
営業利益	1,562,007	1,439,607
営業外収益		
受取利息	3,425	5,998
受取配当金	18,687	21,923
受取和解金	39,000	—
受取賃貸料	39,768	56,946
受取保険金	53	1,348
為替差益	—	228,825
助成金収入	44,338	35,515
売電収入	40,822	39,701
雑収入	20,836	36,318
営業外収益合計	206,931	426,577
営業外費用		
支払利息	337,516	393,057
為替差損	42,964	—
売電費用	26,859	27,006
その他	28,468	40,013
営業外費用合計	435,808	460,076
経常利益	1,333,130	1,406,108
特別利益		
固定資産売却益	4,066	1,918
子会社清算益	—	22,843
債務免除益	—	56,578
特別利益合計	4,066	81,340
特別損失		
減損損失	8,788	—
固定資産除却損	1,893	513
固定資産売却損	—	4
特別損失合計	10,681	517
税金等調整前当期純利益	1,326,515	1,486,931
法人税、住民税及び事業税	279,426	388,415
法人税等調整額	△53,420	△35,061
法人税等合計	226,005	353,353
当期純利益	1,100,509	1,133,577
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	8,043	△2,127
親会社株主に帰属する当期純利益	1,092,466	1,135,704

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,100,509	1,133,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,276	66,792
繰延ヘッジ損益	△90,794	1,290
為替換算調整勘定	118,352	229,641
退職給付に係る調整額	△43,805	264,861
その他の包括利益合計	67,028	562,586
包括利益	1,167,538	1,696,163
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,138,569	1,688,733
非支配株主に係る包括利益	28,968	7,430

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,532,319	4,774,783	8,133,900	△49	16,440,954
当期変動額					
剰余金の配当			△453,987		△453,987
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,092,466		1,092,466
自己株式の取得				△34	△34
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	638,478	△34	638,444
当期末残高	3,532,319	4,774,783	8,772,379	△83	17,079,399

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	297,384	98,234	293,911	226,829	916,360	293,273	17,650,588
当期変動額							
剰余金の配当							△453,987
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,092,466
自己株式の取得							△34
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	83,276	△90,794	118,352	△43,805	67,028	28,968	95,997
当期変動額合計	83,276	△90,794	118,352	△43,805	67,028	28,968	734,441
当期末残高	380,661	7,439	412,264	183,024	983,389	322,242	18,385,030

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,532,319	4,774,783	8,772,379	△83	17,079,399
当期変動額					
剰余金の配当			△453,986		△453,986
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,135,704		1,135,704
連結範囲の変動			△35,087		△35,087
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	646,629	—	646,629
当期末残高	3,532,319	4,774,783	9,419,009	△83	17,726,028

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	380,661	7,439	412,264	183,024	983,389	322,242	18,385,030
当期変動額							
剰余金の配当							△453,986
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,135,704
連結範囲の変動							△35,087
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	66,792	1,290	229,641	264,861	562,586	7,430	570,016
当期変動額合計	66,792	1,290	229,641	264,861	562,586	7,430	1,216,646
当期末残高	447,453	8,729	641,905	447,886	1,545,975	329,673	19,601,677

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,326,515	1,486,931
減価償却費	3,319,505	3,200,723
のれん償却額	65,490	114,804
減損損失	8,788	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	38,696	14,572
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△68,779	△57,955
賞与引当金の増減額 (△は減少)	44,341	41,190
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	14,090	7,430
受取利息及び受取配当金	△22,112	△27,921
受取和解金	△39,000	—
受取保険金	△53	△1,348
支払利息	337,516	393,057
子会社清算損益 (△は益)	—	△22,843
債務免除益	—	△56,578
固定資産売却損益 (△は益)	△4,066	△1,913
固定資産除却損	1,893	513
売上債権の増減額 (△は増加)	△164,077	△294,470
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△673,013	△1,785,561
前渡金の増減額 (△は増加)	16,739	△130,979
未収入金の増減額 (△は増加)	△248,099	317,782
未払金の増減額 (△は減少)	△240,089	312,523
仕入債務の増減額 (△は減少)	△73,123	△612,828
未払消費税等の増減額 (△は減少)	217,510	218,172
その他	47,862	121,867
小計	3,906,534	3,237,166
利息及び配当金の受取額	22,112	27,921
利息の支払額	△336,242	△399,412
保険金の受取額	53	1,348
法人税等の支払額	△672,064	△203,292
法人税等の還付額	46,083	3
和解金の受取額	12,062	26,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,978,537	2,690,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△19,680
定期預金の払戻による収入	—	19,680
保険積立金の解約による収入	12,900	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による収入	—	※2 3,299
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	—	※2 △452,586
有形固定資産の取得による支出	△4,683,240	△3,128,742
有形固定資産の売却による収入	6,833	2
無形固定資産の取得による支出	△38,796	△234,326
無形固定資産の売却による収入	89	—
投資有価証券の取得による支出	△1,079	△1,141
投資有価証券の売却による収入	1,585	—
貸付けによる支出	△1,153	—
貸付金の回収による収入	2,092	1,409
預り保証金の受入による収入	9,000	9,593
敷金及び保証金の差入による支出	△1,267	△12,067
敷金及び保証金の回収による収入	217,377	5,460
関係会社株式の取得による支出	△87,249	△40,178
子会社の清算による収入	—	10,296
その他	△11,546	△1,369
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,574,453</b>	<b>△3,840,349</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,050,000	1,400,000
長期借入れによる収入	3,900,000	675,000
長期借入金の返済による支出	△2,178,155	△1,906,376
配当金の支払額	△453,755	△453,861
自己株式の取得による支出	△34	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式取得の ための前払金の支出	—	△182,977
リース債務の返済による支出	△1,345,808	△1,439,984
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,127,753</b>	<b>△1,908,200</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50,862	23,866
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,774,531	△3,034,010
現金及び現金同等物の期首残高	9,852,638	7,078,106
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	127,272
現金及び現金同等物の期末残高	※1 7,078,106	※1 4,171,368

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (連結範囲の重要な変更)

当連結会計年度より、当社の連結子会社であるContact Lens Precision Laboratories Ltd. が株式を取得し子会社化したScotlens Holdings Limited及びその100%子会社であるScotlens Limitedと、当社の連結子会社である上海実瞳光学科技有限公司が株式を取得し子会社化した上海幻櫻商貿有限公司を連結の範囲に含めております。また、重要性が増したため、当社の非連結子会社であったSEED CONTACT LENS VIET NAM CO., LTD. 及びSEED CONTACT LENS (M) SDN. BHDを連結の範囲に含めております。

なお、当連結会計年度において、当社の連結子会社であったSEED Contact Lens Europe GmbHは清算手続が完了し消滅したため、連結の範囲から除外しております。

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の事業構成のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「コンタクトレンズ・ケア用品」は、コンタクトレンズやケア用品、及びその関連商品等を販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ・ ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	33,104,817	33,104,817	126,816	33,231,633
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	33,104,817	33,104,817	126,816	33,231,633
セグメント利益又は損失 (△)	3,198,932	3,198,932	△8,961	3,189,971
セグメント資産	42,946,478	42,946,478	77,227	43,023,706
その他の項目				
減価償却費	3,274,518	3,274,518	535	3,275,053
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,596,862	6,596,862	5,710	6,602,573

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおります。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ・ ケア用品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	33,849,402	33,849,402	92,993	33,942,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	33,849,402	33,849,402	92,993	33,942,396
セグメント利益	3,469,254	3,469,254	11,408	3,480,663
セグメント資産	56,858,698	56,858,698	109,516	56,968,214
その他の項目				
減価償却費	3,161,831	3,161,831	237	3,162,069
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	13,508,229	13,508,229	726	13,508,955

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼鏡及び眼内レンズ等を含んでおります。

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

売上高	
報告セグメント計	33,104,817
「その他」の区分の売上高	126,816
セグメント間取引消去	—
連結財務諸表の売上高	33,231,633

(単位：千円)

利益	
報告セグメント計	3,198,932
「その他」の区分の利益	△8,961
全社費用 (注)	△1,627,964
連結財務諸表の営業利益	1,562,007

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

(単位：千円)

資産	
報告セグメント計	42,946,478
「その他」の区分の資産	77,227
全社資産 (注)	8,737,179
連結財務諸表の資産合計	51,760,886

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における余資運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券) 及び管理部門に係る資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費 (注)	3,274,518	535	44,452	3,319,505
有形固定資産及び無形固定資産の増加額 (注)	6,596,862	5,710	727,069	7,329,642

(注) 減価償却費には長期前払費用の償却額、資本的支出には長期前払費用の増加額がそれぞれ含まれております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

売上高	
報告セグメント計	33,849,402
「その他」の区分の売上高	92,993
セグメント間取引消去	—
連結財務諸表の売上高	33,942,396

(単位：千円)

利益	
報告セグメント計	3,469,254
「その他」の区分の利益	11,408
全社費用 (注)	△2,041,055
連結財務諸表の営業利益	1,439,607

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

(単位：千円)

資産	
報告セグメント計	56,858,698
「その他」の区分の資産	109,516
全社資産 (注)	5,531,999
連結財務諸表の資産合計	62,500,213

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における余資運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券) 及び管理部門に係る資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費 (注)	3,161,831	237	38,653	3,200,723
有形固定資産及び無形固定資産の増加額 (注)	13,508,229	726	9,600	13,518,556

(注) 減価償却費には長期前払費用の償却額、資本的支出には長期前払費用の増加額がそれぞれ含まれております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他アジア	欧州	その他	合計
28,920,475	1,108,754	440,371	2,739,229	22,802	33,231,633

## (2) 有形固定資産

国内に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
HOYA株式会社	5,201,960千円	コンタクトレンズ・ケア用品事業
株式会社アド	3,812,066千円	コンタクトレンズ・ケア用品事業
株式会社パレンテ	3,600,098千円	コンタクトレンズ・ケア用品事業

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	その他アジア	欧州	その他	合計
29,408,237	980,494	661,322	2,872,353	19,988	33,942,396

## (2) 有形固定資産

国内に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
HOYA株式会社	5,028,568千円	コンタクトレンズ・ケア用品事業
株式会社パレンテ	4,528,110千円	コンタクトレンズ・ケア用品事業
株式会社アド	3,479,104千円	コンタクトレンズ・ケア用品事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ・ ケア用品	計		
減損損失	8,788	8,788	—	8,788

(注) その他は、報告セグメントに含まれないセグメントであります。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ・ ケア用品	計		
減損損失	—	—	—	—

(注) その他は、報告セグメントに含まれないセグメントであります。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ・ ケア用品	計		
当期償却高	65,490	65,490	—	65,490
当期末残高	374,200	374,200	—	374,200

(注) その他は、報告セグメントに含まれないセグメントであります。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ・ ケア用品	計		
当期償却高	114,804	114,804	—	114,804
当期末残高	1,068,855	1,068,855	—	1,068,855

(注) その他は、報告セグメントに含まれないセグメントであります。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1. 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
現金及び預金勘定	7,116,716千円	4,211,149千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△38,610	△39,781
現金及び現金同等物	7,078,106	4,171,368

※2. 当連結会計年度に株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

(1) 株式の取得により新たにScotlens Holdings Limited及びその100%子会社であるScotlens Limitedを連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに当該株式の取得価額と取得のための支出（純額）との関係は次のとおりであります。なお、のれんの金額は当連結会計年度末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

流動資産	58,258 千円
固定資産	31,876
のれん	410,428
流動負債	△34,583
株式の取得価額	465,979
新規連結子会社の現金及び現金同等物	13,393
差引：連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△452,586

(2) 株式の取得により新たに上海幻櫻商貿有限公司を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに当該株式の取得価額と取得のための収入（純額）との関係は次のとおりであります。なお、のれんの金額は当連結会計年度末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

流動資産	100,565 千円
固定資産	1,504
のれん	318,786
流動負債	△155,831
固定負債	△265,025
株式の取得価額	0
新規連結子会社の現金及び現金同等物	3,299
差引：連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,299

## (企業結合等関係)

## (取得による企業結合)

## ① Scotlens Holdings Limited

当社は、2025年3月19日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるContact Lens Precision Laboratories Ltd. (以下、「CLPL社」)が、英国のスコットランドを主たる事業地域とするScotlens Limited (以下、「SL社」)の持株会社であるScotlens Holdings Limited (以下、「SH社」)の株式を100%取得することを決議し、CLPL社は2025年4月1日付でSH社の株式を取得しました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及び事業の内容

- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| イ. 被取得企業の名称 | Scotlens Holdings Limited |
| 事業の内容       | Scotlens Limitedへの出資      |
| ロ. 被取得企業の名称 | Scotlens Limited          |
| 事業の内容       | コンタクトレンズ製造                |

## (2) 企業結合を行った主な理由

かねてよりCLPL社及びその事業子会社であるUltraVision International Limited (以下、「UV社」)は、円錐角膜用ソフトコンタクトレンズをはじめとして医療性の高い虹彩付きレンズといった特殊レンズに注力しておりますが、本株式取得は、オルソケラトロジーが英国やアイルランド地域においても広がりつつあることを踏まえて、スコットランドに本拠を置き、一人ひとりの目の形状に合わせてカスタマイズされた特殊レンズの分野において長い業歴と実績を持つSL社を通じて、より広範な特殊レンズをカバーすることを目指したものであります。

加えて、従来手薄であったスコットランドやアイルランド地域に対してSL社の販売網を通じて、UV社のスペシャリティレンズや当社の使い捨てコンタクトレンズのクロスセルによりグループとしてのシナジー効果を生み出すことを目的としております。

## (3) 企業結合日

2025年4月1日

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更ありません。

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

CLPL社が現金を対価として株式を取得するためであります。

## 2. 連結会計年度に係る連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年4月1日から2025年12月31日

CLPL社の決算日は12月31日であり、連結決算日との差異が3ヶ月を超えていないため、CLPL社の正規の決算を基礎として連結決算を行っております。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	465,979千円	(£2,404,187.50)
取得原価		465,979千円	(£2,404,187.50)

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 35,178千円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん

410,428千円

なお、上記の金額は企業結合日以後、決算日までの期間が短く、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定並びに時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

## (2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

## (3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

## 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	58,258 千円
固定資産	31,876
資産合計	90,134
流動負債	34,583
負債合計	34,583

## ② 上海幻櫻商貿有限公司

当社は、2025年1月10日開催の取締役会において、当社の連結子会社である上海実瞳光学科技有限公司（以下、「上海光学社」）が、中国のコンタクトレンズ卸業者である上海幻櫻商貿有限公司（以下、「幻櫻社」）の株式を100%取得することを決議し、上海光学社は2025年6月1日付で幻櫻社の株式を取得しました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 上海幻櫻商貿有限公司  
事業の内容 コンタクトレンズ卸売

## (2) 企業結合を行った主な理由

本株式取得により販売ルートが多様化され、中国国内の工場との連携を進めることにより、間接コストを圧縮しつつトップラインを増強することを目的としております。

## (3) 企業結合日

2025年6月1日

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更ありません。

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

上海光学社が現金を対価として株式を取得するためであります。

## 2. 連結会計年度に係る連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年7月1日から2025年12月31日

幻櫻社の決算日は12月31日であり、連結決算日との差異が3ヶ月を超えていないため、幻櫻社の正規の決算を基礎として連結決算を行っております。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	0千円（2人民元）
取得原価		0千円（2人民元）

## 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれんの金額

318,786千円

なお、上記の金額は企業結合日以後、決算日までの期間が短く、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定並びに時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

## (2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

## (3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

## 5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	100,565千円
固定資産	1,504
資産合計	102,070
流動負債	155,831
固定負債	265,025
負債合計	420,857

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	596.81円	636.76円
1株当たり当期純利益金額	36.10円	37.52円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	18,385,030	19,601,677
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	322,242	329,673
(うち非支配株主持分(千円))	(322,242)	(329,673)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	18,062,788	19,272,004
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	30,265,786	30,265,786

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,092,466	1,135,704
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	1,092,466	1,135,704
普通株式の期中平均株式数(株)	30,265,801	30,265,786